

第 45 回 群馬脳卒中医療連携の会本会議 議事要旨

日時：2024 年 7 月 16 日（火）19：00～20：50

形式：対面開催

場所：前橋市総合福祉会館 多目的ホール

出席者：224 名

共催：高崎総合医療センター・公立藤岡総合病院・黒沢病院・公立富岡総合病院

開会挨拶を前橋協立病院 院長補佐兼地域連携センター長 朝倉 健 本会代表世話人より行い、議事進行を高崎総合医療センター 脳神経外科部長 心臓・脳血管カテーテルセンター長 佐藤 晃之が行いました。また、閉会の挨拶を当番病院である、公立藤岡総合病院 脳神経外科部長 若林 和樹より行いました。

議事

1、開会挨拶

本会代表世話人 前橋協立病院 院長兼地域連携センター長 朝倉 健

本日は第 45 回群馬脳卒中医療連携の会の本会議に、多くの皆様方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日は特別講演といたしまして、高次脳機能障害についてのテーマで、お二人の講師の先生にご講演を賜る予定です。高次脳機能障害は脳卒中後の症状の一つで、非常に問題になっていますし、非常に大事な点でございますので、今日は皆さんと一緒に勉強をしていきたいと思っております。そして今回非常に嬉しかったのは、今年の春に群馬大学の脳神経外科教授として赴任していただきました大宅教授にご参加いただきました。本当にありがとうございます。まだまだコロナが流行してしまし、皆様方の病院でもいろいろご苦労があると思っておりますけれども、皆さんで集まってフロアで雑談するのもこの会のメリットでありますので、ぜひまた今後とも皆様方で、群馬県の脳卒中治療をしっかりとしたものにしていきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2、一般演題

(1) 2023 年度 計画管理病院 実績報告

前橋赤十字病院 リハビリテーション技師長 水野 剛

2023 年度におけるパス適応患者数、疾患別実績、疾患別集計、疾患・重症度別集計、疾患ごとの平均在院日数、連携先病院別受け入れ実績、連携病院終了者の退院先について発表された。

(2) 連携病院報告

①演題：『当院の取り組みと脳卒中医療連携の実績報告』

演者：美原記念病院 リハビリテーション部 作業療法科 飯野 雄太

病院紹介を始め、令和5年度の実績データや、リハビリテーションデータベースの活用について発表された。

・医療法人相生会わかば病院からの質問。

質問在宅復帰率が高い水準で維持されているが、在宅部門と連携したシームレスな支援というのはどういったことを意識されて関わっているのでしょうか。

回答いくつかありますが、例えば訪問リハビリのスタッフが回復期と兼務になっていて、その対象になる患者には回復期の段階から訪問リハスタッフが介入し、問題点を抽出して自宅に向けてアプローチする流れになっています。また、訪問看護では月に1回ミーティングを開催し、対象者の選定や介護保険の申請のタイミングを検討しています。

・高崎総合医療センターから質問。

質問データベースの活用例で臨床的活用の質問をさせていただきます。予後予測されているとあったが、どういったデータから退院時のFIMの予測を見つけているのか教えてください。

回答サイアスと年齢とFIMになります。あと、麻痺の程度とそこで出しているものになります。

質問的中率は高いでしょうか？

回答当院の集計ですと、約6割程度になっています。目標を超えた人というのが大体6割ぐらいになっています。超えた方は年齢が若年の方が体幹筋力など良好だと目標を超えやすいという分析があります。

質問データベースというのは、業者に依頼してシステムを運用しているのでしょうか？

回答もともとは紙ベースでした。紙に担当者が記入して、それを管理者がExcelシートに転記していましたが、電子カルテが切り替わるタイミングで、リハビリテーション部から要望をだしてアプリを作りました。

②演題：『当院の実績報告』

演者：中央群馬脳神経外科病院 作業療法士 浅川 冬馬

病院紹介をはじめ、令和5年度の実績報告（重症度別の受け入れ件数、在宅復帰率等）について発表された。

・座長から質問。

質問中等症の改善率が結構高いというご発表をいただきましたが、先ほど伊藤様からのご発表の内容を合わせてということになりますが、発症から転院までの日数に関連がありますか。わりと中等症の方は、発症から短い期間で転院されてきて改善が良かったのか、いかがでしょうか。

回答 おっしゃる通りです。当院に転院されてくる患者の実際の調整日数は手元でわからないのですが、印象として比較的短期間、発症から2・3週間ほどで転院してくる中等症の方に、改善の伸び代があります。なかでも比較的FIMの点数は低い状態で転院されてきた方に対して、その後密度の濃いリハビリを実施することで高い水準まで改善が図れるという印象があります。

質問 中央群馬脳神経外科さんは、転院までの日数がすごく短い実感があります。ソーシャルワークの内容かもしれませんが、転院の話があってから転院に至るまでの期間を短くするような取り組みや工夫がありますか。

回答 患者の状態等を医師にソーシャルワーカーが確認して、早急に返事を連絡している中で早めに当院で転院を受け入れてきています。日々のこの積み重ねからそういった状況が生まれているのかなというように思っています。

(3) 第45回 世話人会報告

前橋赤十字病院 地域医療連携課 主任 関上 将平

① 本会議の内容について

今回の本会議について議論し、開催となっている。

② 新ぐんまちゃん脳卒中ノートの配布について

会議終了後に各計画管理病院担当者へ配布することで承認を得た。本日配布予定。

③ 第46回本会議後の情報交換会の開催について

情報交換会の開催については、当番病院で検討することとなった。

3、特別講演

① 演題：『群馬県の高次脳機能障害施策』

演者：群馬県健康福祉部福祉局障害政策課 精神保健室精神保健・発達支援係
新島 怜子 先生

行政的な高次脳機能障害についての説明、病気に対する理解促進と関係機関の連携を図るための、県の取り組みについてご講演いただいた。

② 演題：『支援拠点機関から見た県内の高次脳機能障害支援の現状と課題』

演者：前橋赤十字病院 医療社会事業部 医療社会事業課 ソーシャルワーカー
碓井 祐太郎 先生

高次脳機能障害についての説明や、支援拠点機関の事例を用いながら、関係機関との連携内容や、今後の課題についてご講演いただいた。

・上毛病院より発言。

群馬県医師会の理事をしております。こちらに群馬県医師会の副会長の西松先生もいらっしゃいます。お話聞いて高次脳機能はやはり私たちの連携が必要だということ、それから行

政によって対応が違うところがあれば、群馬県医師会の理事で精神科医の立場で言う必要があると思いました。先ほどの発表の中にダブルワークになるので許可がでないといったことについては医師会からきちんと会社の元締め、経営団体などの機関に意見していく必要もあります。連携を取って、意見を言っていくということが大事だと思いました。当院も認知症コーディネーターを増やそうと13ヵ所認知症疾患医療センターのところに声をかけています。今、若年性認知症の中にこういった高次機能が隠れています。大事なことはそういった若年性認知症の方やいろんな団体が高次機能の特徴を知ることだと感じています。そのためにも声を出して、ネットワークを作っていきたいと改めて思いました。

・高崎総合医療センターから質問。

質問 貴重なご発表ありがとうございました。拠点病院の活動で10年以上経ってから拠点病院につながった方が、少し多めにいらっしゃるということでしたが、まず1点目が10年以上経ってからつながった方に世代的な特徴がございましたでしょうか。もう一点がそういう方は何をきっかけにどうやって10年以上経ってからつながったのでしょうか。

回答 感覚体感になってしまいますが、支援をしてくださっているご家族の方が高齢になってきて困ったというようなケースが多い印象は受けております。そういった方が、ご自身のケアマネジャーさん等に相談をしたところ、拠点があるよと紹介されてきたとか、あとはご親族ご友人の方を通してや、県でも新聞やラジオで広報しているので、それをきっかけにということもありました。

4、その他

前橋市の上毛病院、精神保健福祉士の工藤さんより発言。

高次脳機能障害連携拠点医療機関として4月1日に認定を受けたことへの取り組み報告。

今までも宮永和夫先生による高次脳機能障害の専門外来を開設して患者様を受け入れてきたが、高次脳機能障害の理解促進と連携を図るという役割で活動を深める。

病状や疾病のみならず、生活上の悩みも含めて、診察や相談対応の強化。医療従事者や専門職の方に向けた高次脳機能障害について人材育成の研修開催。普及啓発活動として、地域に住む方々や支援者、事業所などへの講演会の開催。

これらの事業が今年度からの新しい取り組みで、まだこれから形作っていく段階ではあるが各医療機関や事業所、また当事者会、家族会、学校との連携をより形作って強化していきたいと考えている。

上毛病院は若年性認知症コーディネーターを配置して県内13カ所に窓口を設置している。その中で、中核となって80以上の機関と連携、情報交換等を行うなどして活動に取り組んできたが、今回高次脳機能障害の連携拠点医療機関として指定を受けたので、さらにより良い生活につながるよう取り組んでいきたいと考えている。また皆さんとの連携も深めたいので今後ともよろしくお願ひします。

5、次回当番病院挨拶

前橋赤十字病院 顧問 朝倉 健

今回大変勉強になりました。同じような場所に集まって会が出来てよかったと思います。次回もためになったと思える会にしたいと思います。次回は来年1月を予定していますが詳細は未定です。次回の当番病院は太田記念病院、桐生厚生総合病院、館林厚生病院、前橋赤十字病院となっております。

6、閉会挨拶

公立藤岡総合病院 脳神経外科部長 若林 和樹

今日もいろいろお話聞かせていただきました。以上をもちまして閉会とさせていただきます。本日もありがとうございました。